

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	牧草一
	全体計画						経費区分		-		内線	3112
事務事業名	4036 車両管理事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	07024600 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020106 総務費・総務管理費・車両管理費										
	事業	010000 車両管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
集中何里車両の適正な運行管理を通じて、効率的かつ安全な公務の執行を図る。						集中管理車両の点検整備などの維持管理と、配車計画及び安全運転管理の実施。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
	平成22年度から車両の傷の有無を確認するよう使用簿を変更し、職員の意識が変化している。須坂保育園建設工事に伴い、集中管理車両が保健センター下駐車場から多目的（防災）広場へ移動したことに伴い、駐車場での事故件数が1件減り、2件となった
平成24年度 実績	平成25年度 実績
事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少を図った。また、防災活動センターを新築し、1階に道路河川課車両を移動するため、工期中の駐車場の管理、車両移動を行った。	事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少を図った。防災活動センターが完成し、各課保管車両も含め公用車駐車場の移動が終了したことから、保管車両の有効活用、台数の減を呼びかけた。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少。	事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少。

指標名	車両損傷件数						
算式	実績					単位	台
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	14	12	10	8	6	
	実績	14	6	16			
指標選定の理由	公用車を適切に使用し、安全運転を行ううえでの指標となるため。						
最終年度目標の根拠	損傷車を毎年2台ずつ減らしていくため。						
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		9,545	10,042
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		9,545	10,042
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		9,545.0	10,042.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	3,625	燃料費 3,042 ほか
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,920	手数料(車検、点検) 898 有料道路通行料 1,671 備品購入費(軽3、軽トラダンプ) 2,087 ほか

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	4,160	燃料費 3,290 ほか
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,882	手数料(車検、点検) 1,154 有料道路通行料 2,000 備品購入費(軽3、軽トラダンプ) 1,200 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	各種業務の機動的な遂行のために必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	軽車両、低公害車両によりCO2排出量については減少しているが、車使用へのニーズは高まっており、車両の不足を訴える声がしばしばあった一方、集中管理車両が占用に近い状態にいたり、各課所有の車両等が有効に活用されていないケースもあり対応に苦慮した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	使用状況を精査し、車両予約システムを活用し職員に呼びかけて車両の有効活用を図ることで車両を減らすことから、26年度の更新にあわせ軽バンを1台減らすこととした。また、車体への企業等広告について研究し、新年度で実施することとした。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

車両の損傷事故件数が増加してしまった。事故に対する職員意識の変革を更に進め、併せて職員に対する安全運転を呼びかけるなど、市が率先して安全運転に努めたい。また、公用車の有効利用という観点から、予約システムの活用や職員の意識の向上を促す仕組みが必要と思われる。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>車両予約システムは、申込み時のみ入力するので、早めに終わっても、まだ使用されている状況が見受けられる。システムの有効活用と事故件数の減少について、職員への徹底を図りたい。</p>		<p>事故防止の面から「一声かける」など安全運転管理に更に務めてほしい。 また、公用車の有効利用のため、車両の空き時間が確実に分かる仕組みが必要である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	